

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		621-01-01	
事務事業名		大阪府総合体育大会関連事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4413	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	府民の各種スポーツの競技者					
	目的 (どうしたいか)	府内各地域のスポーツを振興し、その普及発展とアマチュアスポーツの精神高揚を図り、併せて府民の健康づくりと親睦に寄与しようとするもの。					
	手段 (事業内容)	全13種目(バレーボール、卓球、柔道、剣道、軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン、バスケットボール、サッカー、弓道、駅伝)33種別の競技について、本市が担当する種目の円滑な大会運営を図る。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 大阪府体育連合負担金:0千円 総合スポーツセンター利用料:0千円 ※新型コロナウイルス感染拡大のため大会が中止。
当初予算額	事業費	183	150	312	
決算額	事業費	129	0	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	当市における開催日数	単位	日
指標の説明	当市における大阪府総合体育大会の開催日数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	2	5	5
実績	2	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	当市開催の大会参加者数合計	単位	人
指標の説明	大阪府総合体育大会における当市開催種目の大会参加者数合計		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	600	425	529
実績	191	0	－

【事業費】 大阪府体育連合負担金:0千円 総合スポーツセンター利用料:0千円 ※新型コロナウイルス感染拡大のため大会が中止。
※事業の参考数値等※
本市担当種目 【地区大会】 令和2年度(中止) ソフトボール、バスケットボール 令和3年度 ソフトボール、バスケットボール
【中央大会】 令和2年度:なし 令和3年度:卓球

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 大阪府体育連合・府市教委・大阪体育協会・各市町村体育協会の主催事業であり、スポーツの普及・振興を図るために、今後も継続すべき事業である。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 質の高い安定した大会運営を継続していくためには、より協賛企業等を募るなどの取り組みを強化する必要があることから、大阪府体育連合への働きかけ等、理事会・評議員会を通じて行う。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		621-01-02			
事務事業名		市民総合体育大会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線4411			
担当部署名		スポーツ振興課		予算 科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策		2		生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向		1		スポーツ・レクリエーションの推進		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		青少年の健全育成や市民の健康づくり						
	目的 (どうしたいか)		大会を通じて競技スポーツの普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、併せて健康の増進と親睦を図る。						
	手段 (事業内容)		各種目(ソフトボール、バドミントン、卓球、バレーボール、剣道、柔道、サッカー、バスケットボール、ソフトテニス、テニス)の参加受付及び取りまとめや、円滑な大会運営のための主管団体との連絡調整、当日運営補助等。						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 大会運営助成金:1,257千円 総合スポーツセンター利用料:451千円
当初予算額	事業費	2,600	2,571	2,610	
決算額	事業費	1,953	1,708	－	
	特定財源等	0	0	－	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	大会開催日数	単位	日
指標の説明	市民総合体育大会の総開催日数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	30	35	35
実績	26	26	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	大会参加人数	単位	人
指標の説明	市民総合体育大会の参加人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	2,900	2,614	2,356
実績	1,980	1,314	－

【事業費】 大会運営助成金:1,257千円 総合スポーツセンター利用料:451千円

※事業の参考数値等※
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の種目が中止。 【中止】 ・バスケットボール(一般男女)・バレーボール(一般男女)・剣道・柔道 【不成立により中止】 ・バドミントン(ダブルス一般男子3部、一般女子1～3部・シングルス一般男女1～3部)・テニス(一般女子1～3部)

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、当該大会はスポーツの普及・振興に対する一つの柱的な事業である。 種目により参加者数の増減があることから、競技種目ごとに部門の細分化や統合を行う必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
今後も主管団体となる体育協会及び中学校体育連盟と連携し、競技スポーツの普及発展等に重点を置いた大会として、市民が幅広く参加できるよう取り組みを進める。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		621-01-03			
事務事業名		スポーツ大会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線4416			
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策		2		生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向		1		スポーツ・レクリエーションの推進		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		市民						
	目的 (どうしたいか)		スポーツ大会を通じて、健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る。						
	手段 (事業内容)		市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンド・ゴルフ大会等を開催。開催にあたっては、体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、グラウンド・ゴルフ協会等、各関係団体と連携、また、一部を民間に委託し実施。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 スポーツ大会開催委託料:4,803千円 賞品代:209千円 【特定財源等】 大会等参加費:234千円	
当初予算額	事業費	8,382	8,353	7,840		
決算額	事業費	7,905	5,012	－		
	特定財源等	590	234	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	大会日数	単位	日
指標の説明	市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会等の総開催日数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	18	13	17
実績	14	9	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	全体会の参加人数	単位	人
指標の説明	市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会等の参加延べ人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	8,100	8,000	8,000
実績	7,298	816	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
令和2年度については、市民体育祭、市民マラソン大会、小学生サッカー大会、グラウンド・ゴルフ大会の月例4・5・7・8・11～3月大会・3市町ふれあい交流大会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、参加人数については目標の達成には至らなかった。しかしながら、例年、市民体育祭、市民マラソン大会、グラウンド・ゴルフ大会については、いずれも市民に親しまれた大会として多くの参加者により実施していることから、今後も市民の健康及び体力づくりに欠かせない事業として継続して行うこととする。なお、少年サッカー大会については、ここ数年で類似大会等が多く実施されていることから廃止とする。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が強いことから、各大会を実施する場合は、市の方針やガイドライン等に沿った感染防止対策を講じた上で実施する。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード		621-01-04	
事務事業名		聖火リレー開催事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
					連絡先		内線4411	
担当部署名		スポーツ振興課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち			款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			項	6	保健体育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進			目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰・何を)	「竹内街道・横大路(大道)」及び「百舌鳥・古市古墳群」						
	目的 (どうしたいか)	日本遺産である「竹内街道・横大路(大道)」と、大阪府初の世界文化遺産である「百舌鳥・古市古墳群」それぞれの歴史的価値を聖火リレーをとおして多くの方に周知し、本市の魅力を認識、再認識していただく。						
	手段 (事業内容)	オリンピック聖火ランナーが「竹内街道・横大路(大道)」及び「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産である白鳥陵古墳や応神天皇陵古墳等、本市の歴史資産を安全に通過することができるよう、藤井寺市と連携し、取り組みを進める。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
当初予算額	事業費	4,000	7,000	6,615	
決算額	事業費	4,000	0	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	聖火リレーランナー数	単位	人
指標の説明	聖火ランナーとして走行する人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	0	12	12
実績	0	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	観覧者数	単位	人
指標の説明	聖火リレーに伴う式典や沿道の観覧者数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	0	6,000	6,000
実績	0	0	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 聖火リレーの開催は、オリンピック大会及びスポーツへの市民の機運を高める事業であるとともに、コース上の日本遺産である竹内街道や、世界遺産である白鳥陵古墳や応神陵古墳などの古市古墳群を横目に走ることで、本市の歴史的資産のPRの場となる。 令和2年度については、東京2020オリンピック・パラリンピックの1年延期が決定したことにより、聖火リレーについても同様に延期となり、今後実施手法等の変更がある場合は、その対応を行う必要がある。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 令和2年度での実施が延期されたことから、引き続き、実施する場合の広報・HP等での周知や、ミニセレブレーション会場や沿道での警備員・ボランティアスタッフの増員等の感染防止対策、式典等の事業内容の簡素化等、国や組織委員会、大阪府からの情報を整理しながら、実施手法を固めていくこととなる。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		621-02-01	
事務事業名		普通救命講習会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4411	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	スポーツやレクリエーション活動等において、疾患等の事故が発生した際に適切な処置を行えるよう、心肺蘇生法、AEDの使用法等の救命処置等について講習を受けていただく事で、活動の安全性向上を図る。					
	手段 (事業内容)	普通救命講習会実施に係る参加者募集の為の広報掲載、使用施設の予約(総合スポーツセンター)、当日受付及び運営補助、当日の準備事務等を行っている。また、講師については柏原羽曳野藤井寺消防本部に依頼し、実施内容等を調整し、開催している。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 会場使用料 0千円	
当初予算額	事業費	35	35	40		
決算額	事業費	35	0	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	普通救命講習会開催日数	単位	日	
指標の説明	普通救命講習会の開催日数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		2	2	2
実績		2	0	－

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	普通救命講習会参加人数	単位	人	
指標の説明	普通救命講習会の参加人数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		160	160	100
実績		109	0	－

【事業費】 会場使用料 0千円	
--------------------	--

※事業の参考数値等※	
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
救急救命講習については、学校体育施設開放事業(プール)や、スポーツ推進事業においては必要不可欠であり、3年に1度、資格の更新が必要なため、定期的な開催が必要である。今後は、事前のWEB講習による受講時間の短縮等の講習内容の見直しの検討を進める。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学校体育施設開放事業等のプール開放を中止としたこともあり、本事業も中止とした。今後、本事業にあっては、新型コロナウイルス感染症の感染状況等をみながら実施する必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
令和3年度は、厚生労働省が推奨している「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による救急蘇生法について(指針)」に基づき関係団体と連携しながら講習を行う。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		622-01-01	
事務事業名		スポーツ推進委員関連事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線4416	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	2	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	スポーツの実技指導及びニュースポーツの普及活動をととして、心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現に寄与する。					
	手段 (事業内容)	スポーツ基本法に基づき教育委員会が委嘱した各小学校区最大2名の委員が、生涯スポーツの推進役として市民の求めに応じたスポーツの実技指導を行う。また、市民のスポーツ活動の促進の為、スポーツ団体のみならず、学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツ関連の行事や事業に協力する。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 報酬:1,450千円 食糧費:6千円 総合スポーツセンター利用料:37千円 負担金:26千円 被服費:66千円 消耗品費:12千円 庁用器具費:94千円	
当初予算額	事業費	1,968	2,159	2,029		
決算額	事業費	1,852	1,691	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	定例会の開催回数	単位	回	
指標の説明	定例会として、イベント等に係る協議・調整等の会議及びニュースポーツ等の実技研修会の開催回数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	12	12	12	
実績	11	9	－	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	イベントの開催回数	単位	回	
指標の説明	「ニュースポーツのつどい」と題した、市民が無料で気軽に参加できる、バウンスボール、カローリング等のニュースポーツ体験イベントの開催回数4回。令和3年度はウォーキングイベントも1回実施予定。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	3	4	5	
実績	2	1	－	

事業の参考数値等	
新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催回数が減少	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市全域における社会体育及び生涯スポーツ等の普及を担っており、主催イベントのみならず、教育委員会主催イベントにも協力するなど、市内におけるスポーツの普及や推進に必要な組織である。また、各小学校区ごとに委員が選出されていることから、市民との直接的な情報交換の窓口として、地域スポーツの振興に市民の意見が反映できている。一方、スポーツ推進委員へのなり手が不足し、後継者問題にも発展しつつあることから、スポーツ推進委員の資質の向上、やりがいを感じられるインセンティブを検討するなど、継続した活動を推進し、スポーツ推進委員の認知度や評価度が向上する取り組みも必要となっている。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限される中、会議等をととして今後の活動方針等を検討するなど、収束期での活用がスムーズになるよう一体となって取り組みを進める。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		622-01-02			
事務事業名		スポーツ関連団体支援事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線4411・4412			
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策		2		生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向		2		スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		羽曳野市内のスポーツ団体						
	目的 (どうしたいか)		スポーツ関係団体の組織の充実に向けた活動支援及び相互協力を促進することにより、市民が身近なスポーツに親しみ、健康的で心豊かな生活の実現をめざす。						
	手段 (事業内容)		体育協会・スポーツ少年団・ゲートボール協会の大会や講習会等に対する助成金による支援並びに事務局等としての団体事業の連絡調整等の関連業務を行う。						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 体育協会助成金:1,400千円 スポーツ少年団助成金:450千円 ゲートボール協会助成金:138千円 賞品代:26千円
当初予算額	事業費	3,547	3,660	3,600	
決算額	事業費	3,255	2,014	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	助成団体数	単位	団体
指標の説明	羽曳野市が助成金を拠出している団体数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	32	30	29
実績	32	29	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	各種団体が行った大会・講習会等事業数	単位	回
指標の説明	各種団体が行った大会・講習会等の事業数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	105	97	126
実績	93	70	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
団体の活動が、さまざまな年代の健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る上で重要な役割を担っている。また、少子化による構成人数減少等や、指導者の不足、組織の高齢化等の課題のある団体が増加していることから、今後も継続して活動支援と事業連携を行う必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会や講習会の開催をはじめ、日常の練習についても十分な環境が望めないことから、個々のチームや各団体の弱体化等を抑制できるよう支援を行うとともに、コロナ収束期の活動の活性化に向けて協議を行う。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		623-01-01	
事務事業名		総合スポーツセンター管理運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4416	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		目	3	体育施設管理運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市立総合スポーツセンター(はびきのコロセラム)					
	目的 (どうしたいか)	適正な管理運営を行い利用の促進等を図ることで、スポーツを振興するとともに、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。					
	手段 (事業内容)	管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 指定管理料 117,954千円 修繕費 3,267千円 機器借上料 12,233千円 施設整備関連費 149,449千円 教育財産使用料還付 1,781千円 【特定財源等】 総合スポーツセンター教室参加料 2,911千円 教育財産使用料等 34,693千円 倉庫整備負担金 21,446千円	
当初予算額	事業費	232,968	301,268	189,114		
決算額	事業費	202,196	284,685	—		
	特定財源等	43,132	59,050	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開館日数	単位	日	
指標の説明	1年間の施設の開館日数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		360	298	300
実績		335	298	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設利用者数	単位	人	
指標の説明	1年間の施設の利用者数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		380,000	300,000	190,000
実績		336,677	181,329	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価		現状維持	
(担当部局による総合評価の理由や課題)		今後の改善内容	
指定管理者制度においては、民間企業のノウハウを生かした管理運営が行われていることから、一定の効果が認められる。しかしながら、管理期間が短く、中期的な取り組みができない部分もあることから、指定管理期間の長期化など、検討する必要がある。 また、施設についてはオープン後20年以上が経過し、設備等の更新が必要になっていることから、今年度のアリーナLED化やろ過機更新に続き、今後も計画的に修繕していくことが求められる。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容)	
		令和3年度に新たに指定管理者の募集を行うことから、指定管理期間の長期化や現指定管理者の評価等について、関係団体、関係者と協議を進めながら決定をしていく。 また、設備については、新型コロナウイルス感染症の影響下でも安心して利用いただけるよう環境整備を進めるとともに、既存設備の計画的な更新を進める。	

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		623-01-02		
事務事業名		体育施設管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線4411		
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち	款	10	教育費
	施策		2		生涯スポーツ・レクリエーション	項	6	保健体育費
	施策の方向		3		スポーツ施設の整備・充実	目	3	体育施設管理運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		羽曳野市直営スポーツ施設(石川スポーツ公園、GG場、中央スポーツ公園、陵南の森運動広場、羽曳が丘テニスコート、茶山テニスコート)					
	目的 (どうしたいか)		施設の適正な管理を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。					
	手段 (事業内容)		施設の維持管理					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
当初予算額	事業費	23,451	25,242	23,231	
決算額	事業費	23,810	25,487	—	
	特定財源等	18,916	15,868	—	

【事業費】
(光熱水費)3,594千円
(業務委託料)18,329千円
(修繕費)3,512千円
(庁用器具費)53千円

【特定財源等】
施設使用料:14,259千円
教育財産使用料等(電柱・自販機等)1,609千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	業務委託数	単位	件	
指標の説明	施設を適正に維持管理するために行った業務の委託数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		11	11	11
実績		11	11	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設全体の合計利用者数	単位	人	
指標の説明	1年間の延べ利用者数(市直営のスポーツ6施設合計)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		200,000	190,000	130,000
実績		186,231	124,095	—

【各施設延べ利用者数】
石川スポーツ公園:46,804人
陵南の森運動広場:17,435人
羽曳が丘テニスコート:6,853人
グラウンド・ゴルフ場:33,233人
中央スポーツ公園:16,308人
茶山テニスコート:3,462人
【休館日】12月29日～1月3日
※臨時休館(感染拡大防止)
令和2年4月13日～5月24日(42日間)

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 体育施設の管理については、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る観点から、立地や使用内容に応じて無料施設と有料施設分類しながら管理し、生涯スポーツの場として提供しており、施設の修繕費や管理・整備等に係る事業費については概ね妥当である。 今後の課題として、整備から30年以上経過した施設において、フェンス等の老朽化に対応する必要がある。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 市の上位計画との整合性を図りながら、計画的な事業計画や修繕計画の策定、指定管理者制度の導入等を検討し、適正な管理を継続して行う。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		623-01-03			
事務事業名		体育施設運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)			
				連絡先		内線4411			
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策		2		生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向		3		スポーツ施設の整備・充実		目	3	体育施設管理運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		羽曳野市直営スポーツ施設(石川スポーツ公園、GG場、中央スポーツ公園、陵南の森運動広場、羽曳が丘テニスコート、茶山テニスコート)						
	目的 (どうしたいか)		施設の適正な運営を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。						
	手段 (事業内容)		市職員による利用者対応						

予算・決算額		(単位:千円)			【事業費】 (消耗品)488千円 (砂代)456千円 (原材料費)147千円 (保険料)11千円 (印刷製本費)107千円 (電話料)93千円 (複写機保守)10千円 (医薬材料費)9千円
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
当初予算額	事業費	2,462	1,798	1,568	
決算額	事業費	1,225	1,320	－	
	特定財源等	0	0	－	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開館・開場・開園日数	単位	日
指標の説明	各施設の開館・開場及び開園の日数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	360	317	300
実績	360	317	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設全体の合計利用者数	単位	人
指標の説明	1年間の延べ利用者数(市直営のスポーツ5施設合計)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	200,000	190,000	130,000
実績	186,231	124,095	－

事業の参考数値等
(各施設延べ利用者数) 石川スポーツ公園:46,804人 陵南の森運動広場:17,435人 羽曳が丘テニスコート:6,853人 グラウンド・ゴルフ場:33,233人 中央スポーツ公園:16,308人 茶山テニスコート:3,462人 【休館日】12月29日～1月3日 ※臨時休館(感染拡大防止) 令和2年4月13日～5月24日(42日間)

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市直営の体育施設には、無料施設と有料施設があり、有料施設の管理形態としては、会計年度職員等による市職員での管理のほか、事業者に委託し施設の運用を行っており、施設運営に係る事業費については妥当である。なお、新型コロナウイルス感染症による臨時休業や施設の利用自粛等による影響で、施設利用者数は減少しているものの、ジョギングや体操など、施設を利用した健康維持等については、例年以上の役割を果たしているところである。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、利用者が安全に活動できるよう取り組みを進める。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		623-01-04		
事務事業名		市民体育館等管理運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線4415		
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち	款	10	教育費
	施策		2		生涯スポーツ・レクリエーション	項	6	保健体育費
	施策の方向		3		スポーツ施設の整備・充実	目	3	体育施設管理運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		スポーツ2施設(市民体育館、市民体育館テニスコート)					
	目的 (どうしたいか)		適正な管理運営を行い利用の促進等を図ることで、スポーツを振興するとともに、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。					
	手段 (事業内容)		管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 指定管理料 12,316千円 土地借上料 3,350千円 施設管理補填 1,270千円 教育財産使用料還付 2千円 【特定財源等】 教育財産使用料等(電柱・自販機) 684千円	
当初予算額	事業費	12,204	15,667	14,341		
決算額	事業費	15,558	16,938	—		
	特定財源等	834	684	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開館日数	単位	日	
指標の説明	1年間の施設の開館日数(通常は休館は年末年始の6日間)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	360	298	300	
実績	335	298	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設利用者数	単位	人	
指標の説明	1年間の施設の利用者数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	80,000	67,000	60,000	
実績	78,012	58,922	—	

個別評価
妥当性
有効性
効率性
総合評価
改善して継続

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
指定管理者制度においては、民間企業のノウハウを生かした管理運営が行われていることから、一定の効果が認められる。しかしながら、管理期間が短く、中期的な取り組みができない部分もあることから、指定管理期間の長期化など、検討する必要がある。 なお、施設については建物自体の耐震化など、抜本的な検討が必要となってくることから、施設のあり方や将来像を明確化し、東部地区のスポーツ施設としての環境整備を図る必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
令和4年度からの指定管理者の募集を行う必要があるが、施設の状況等を踏まえながら関係団体、関係者と協議を進め決定をしていく。 また、施設のあり方については、上位計画や公共施設等総合管理計画等との整合性を図りながら、より市民が利用しやすい環境となるよう、検討をすすめる。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		623-01-05		
事務事業名		グレープヒルスポーツ公園等管理運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)		
				連絡先		内線4415		
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち	款	10	教育費
	施策		2		生涯スポーツ・レクリエーション	項	6	保健体育費
	施策の方向		3		スポーツ施設の整備・充実	目	3	体育施設管理運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)		スポーツ2施設(グレープヒルスポーツ公園、駒ヶ谷テニスコート)					
	目的 (どうしたいか)		適正な管理運営を行い利用の促進等を図ることで、スポーツを振興するとともに、健康及び体力の増進並びに青少年の心身の健全な育成を図る。					
	手段 (事業内容)		管理運営を指定管理者に委託する。(指定管理者制度の導入)					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 指定管理料 12,681千円 修繕費 417千円 土地借上料 1,309千円 施設利用料補填 456千円 自販機設置還付 2千円 【特定財源】 教育財産使用料等(電柱・自販機) 641千円	
当初予算額	事業費	12,566	13,989	13,988		
決算額	事業費	14,997	14,865	—		
	特定財源等	827	641	—		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開館日数	単位	日	
指標の説明	1年間の施設の開場日数(通常の休場は年末年始の6日間)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		360	317	300
実績		360	317	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設利用者数	単位	人	
指標の説明	1年間の施設の利用者数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		58,000	49,000	41,000
実績		54,428	40,270	—

【事業費】	
指定管理料	12,681千円
修繕費	417千円
土地借上料	1,309千円
施設利用料補填	456千円
自販機設置還付	2千円
【特定財源】	
教育財産使用料等(電柱・自販機)	641千円

※事業の参考数値等※	
【利用者数】人	
(平成30年度)グレープ:	48,800
駒ヶ谷	:7,626
(令和元年度)グレープ:	46,570
駒ヶ谷	:7,858
(令和2年度)グレープ:	32,190
駒ヶ谷	:8,080
【休館日】12月29日～1月3日	
※臨時休館(感染拡大防止)	
令和2年4月13日～5月24日(42日)	
令和3年4月25日～6月20日(57日)	
※時短営業実施期間(9時～20時・感染拡大防止)R3年1月14日～2月28日(46日間)	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
令和2年4月中旬から5月下旬まで臨時休館によりグレープヒルスポーツ公園利用者については減少傾向にあるものの、指定管理者による教室の実施等も含めて駒ヶ谷テニスコートの利用者数は増加している。 駒ヶ谷テニスコートについては、本市唯一のナイター設備のあるテニスコートだが、経年劣化による老朽化が進んでおり、市民ニーズを踏まえた改修・修繕等を計画的に進めていく必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
令和4年度からの指定管理者の募集を行う必要があるが、施設の状況等を踏まえながら関係団体、関係者と協議を進め決定をしていく。 利用については、指定管理者側と協議しながら、新型コロナウイルス感染防止対策を行うとともに、老朽化が進んでいる駒ヶ谷テニスコートの改修・修繕等について検討を進めていく。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		623-01-06				
事務事業名		スポーツ施設利用予約システム運営事務事業		事務の種類			自治事務(任意のもの)			
				連絡先			内線4416			
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		6		歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費	
	施策		2		生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費	
	施策の方向		3		スポーツ施設の整備・充実		目	1	保健体育総務費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		羽曳野市民及び羽曳野市外利用者							
	目的 (どうしたいか)		スポーツ施設予約システムを整備することにより、スポーツ施設の利用予約や利用料金の支払い等の利便性の向上を図り、スポーツ施設の利用を促進する。							
	手段 (事業内容)		パソコンやスマートフォンからインターネット経由でスポーツ施設の空き情報の照会や利用申込・取消し等を可能とする。また、利用料金の口座振替により支払いの利便性の向上を図る。							

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 口座振替分割統合処理料:27千円 システム運用委託料:1,654千円 システム電算機借上料:335千円 システム改修委託料:6,490千円 【特定財源等】 システム登録・更新・再交付手数料:67千円
当初予算額	事業費	3,385	8,576	1,813	
決算額	事業費	4,644	8,506	—	
	特定財源等	100	67	—	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	システム稼働日数	単位	日
指標の説明	スポーツ施設予約システムの稼働日数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	365	365	365
実績	366	365	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	スポーツ施設予約システム登録件数	単位	件
指標の説明	スポーツ施設予約システムの利用者登録件数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	1,100	1,100	1,000
実績	1,050	938	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 施設利用者の利便性の向上等、市民のスポーツ施設の利用の促進に大きな役割を担っている本システムについては、本年度6月に安全性の向上やシステム運用におけるランニングコストの削減を行えるようシステムサーバのクラウド化を実施した。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 引き続き、インターネットを経由し、いつでもどこでも安全に空き情報照会や利用予約、抽選機能、口座振替による利用料金の支払いなどが可能となるよう、システムの管理運営に取り組む。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

					事務事業コード		623-02-01	
事務事業名		学校体育施設開放事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
					連絡先		内線4411	
担当部署名		スポーツ振興課			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち			款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション			項	6	保健体育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実			目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	スポーツ・レクリエーション団体等						
	目的 (どうしたいか)	学校教育に支障のない範囲で小中学校のグラウンド、体育館、プール等を開放することにより、市民にスポーツやレクリエーション等に親しむ場を提供する。						
	手段 (事業内容)	市内居住・通学・通勤する者10名以上で構成する団体を対象に、毎年度、利用団体登録を行った上で、当該団体から月単位で利用申請書の提出を受け、夜間や休日等、学校教育に支障がないと認めた日時の体育施設の利用承認を行う。						

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 【特定財源】
当初予算額	事業費	48	0	0	
決算額	事業費	0	0	-	
	特定 財源等	0	0	-	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開放小中学校等数	単位	開放校
指標の説明	学校体育施設を開放している小・中・義務教育学校の数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	18	18	18
実績	18	18	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	利用実績延べ人数	単位	人
指標の説明	学校体育施設を利用した延べ人数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	210,000	150,000	160,000
実績	207,128	154,104	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 市民へのスポーツ活動の環境等を提供する事業として、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、一定の利用者数となっていることから引き続きリスク管理を徹底し、事業を推進していく。なお、利用希望団体数の増加に伴い、希望に見合う利用が困難な学校施設も増加してきており、平等に施設を提供できるよう利用団体向けの説明会開催等、利用調整に必要な仕組みづくりと、遵守事項の確認を引き続き書面やメール等で行う必要がある。	今後の改善内容 (令和3年度以後の事業実施への改善内容) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開放校の校長・教頭と十分連携を取りながら、利用団体に対し参加者名簿の作成や利用後の施設の消毒等、感染防止対策を徹底した上で開放日数の確保に努める。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード		623-03-02	
事務事業名		市民プール整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4415	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		目	3	体育施設管理運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市立市民プール					
	目的 (どうしたいか)	子どもから大人まで楽しむことが出来るプール施設を整備することで、地域のレクリエーションの場を提供する。					
	手段 (事業内容)	市民プール(西浦地域)の老朽化に伴い、新たに中央スポーツ公園内に市立市民プールを整備する。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和2年度決算)※	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 設計委託料(債務負担)34,266千円 設計委託料(補正)8,602千円 【特定財源等】 地方債 38,500千円	
当初予算額	事業費	231,215	34,266	168,753		
	事業費	230,723	42,868	—		
決算額	特定財源等	197,700	38,500	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市民プール利用者数	単位	人
指標の説明	市民プールの来場者数 ※平成29年度は西浦市民プール。 ※令和元年度は、代替えとしてプール開放事業		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	6,000	4,000	3,000
実績	3,251	0	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	整備率	単位	%
指標の説明	整備が完了した比率		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	21	30	39
実績	20	20	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 老朽化に伴う市民プールの整備については、令和2年度に屋外プールに設計を変更するなどし、令和3年度より整備に着手する。なお、市民プール完成までの間、その代替えとして、学校プールを無料開放するプール開放事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開放事業を中止とした。		(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 整備工事については、令和3年7月頃より実施し、令和4年6月頃の完成を目指すとともに、同年の夏季オープンに向け関連業務を行う。また、学校プールの無料開放については、新型コロナウイルス感染対策を講じるなど、実施に向け取り組みを進める。